

パッシブタウン 第2街区



施設概要

新築/改修	新築	建物用途	共同住宅
所在地	富山県黒部市	延べ面積	6,931㎡
地域区分	5地域	住居面積	4,240㎡
竣工年月	2016年10月	構造	RC造
発注者	YKK(株)	階数	地上3階 地下1階
設計者	(株)楨総合計画事務所	BELS評価	☆☆☆☆☆
施工者	戸田建設(株)		

建物仕様

屋根	XPS 200mm (外断熱)	空調	床置空調機
外壁	EPS 100mm (外断熱)	換気	顕熱交換器 (LZW)
床下	XPS 100mm (外断熱)	照明	LED照明器具
窓	樹脂サッシ Low-Eトリプルガラス (Ar16)	給湯	太陽熱給湯ユニット
遮蔽・遮熱	水平庇	昇降機	—
		創エネ	—
		その他	太陽熱集熱パネル

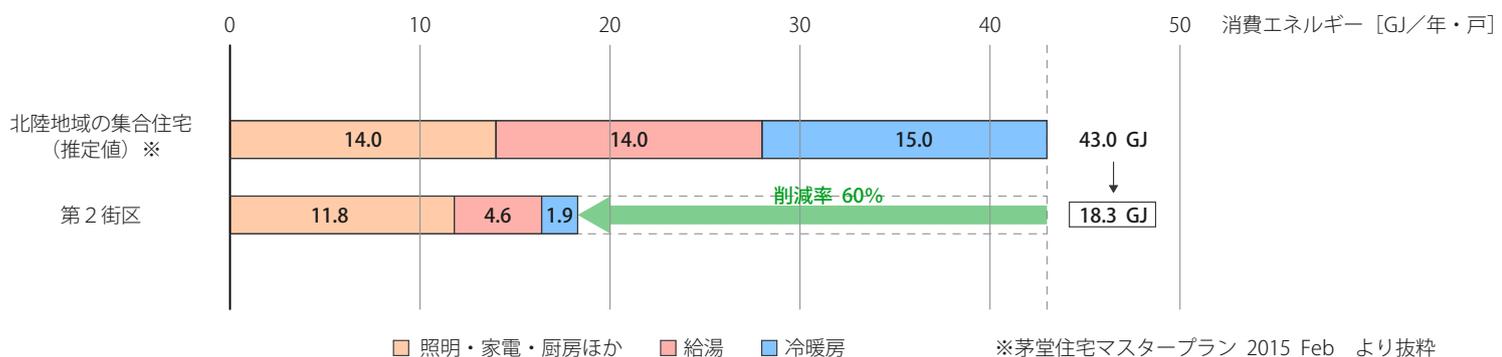
設計コンセプト

2015年の北陸新幹線の開業を機に、YKKグループは黒部拠点の再編を進めており、このパッシブタウンでは、自然エネルギーを最大限に活かした集合住宅の計画によって、黒部市における次世代のまちづくりを目指している。

第2街区では、第1街区と同様に地下に駐車場を設けることにより、地上部に緑豊かなオープンスペースをつくった。第1街区のような長屋形式とは異なる方法でパッシブを考えられないかと思い、住棟は3面が外部につながる独立性の高いものとし、住戸の中央にテラスを設けることで、住戸内のほとんどの部屋が2方向に開口を持つことができた。そのため、風通しが良く、日光の変化を組み入れた空間をつくることができた。

グリーン化の取り組み

- カーボン入りEPSを活用した外断熱システムにより、外皮性能を高める。(EPS: ビーズ法ポリスチレンフォーム)
- 太陽熱集熱器(ソーラーコレクター)は、太陽熱を利用して水を加熱し、集めた熱を使用して各住戸の給湯タンクの水を温め、作り出した温水は「給湯設備」に利用している。(エコジョーズ型の給湯機器システム)
- テラスやバルコニーのヒートブリッジ対策として、構造熱橋防止システム「イソコルプ」を採用。



※茅堂住宅マスタープラン 2015 Feb より抜粋
暖冷房負荷算出ソフト: AE-Sim/Heat